

宏はこう考える

■放射線測定結果に基づく我孫子市独自の冷静な対応が急務■

冒頭にも述べたとおり、放射線量に対する不安が市民の間に広がっています。6月議会の本会議や各常任委員会で各議員から質問や意見提言が出されるほど、原発から約200キロ離れている我孫子市が、放射線量の測定値が局地的に高い「ホットスポット」と呼ばれる地域であることが市民の間で共通認識化しています。私も、今回の6月議会の環境生活常任委員会で、放射線量の問題を取りあげ、我孫子市が独自もしくは東葛地域の連携の中で行ってきた取り組みを確認しつつ、市独自の方針や安全基準の設定、そして緊急時の対応方法とシステムの確立を意見提言しました。

市民の安全、安心を守る見地から、我孫子市は、市に拠点を置く電力中央研究所に対して、4月28日に市長名の文書をもって市内の放射線量の測定調査を依頼しました。それを踏まえて、電力中央研究所では、同研究所の狛江地区にいる専門家部隊による測定を5月27日に実施しました。また、我孫子市独自にも、6月14日と15日の両日、市内の全保育園と幼稚園、そして主要な公園でも独自に放射線量の測定を行うとともに、6月20日には14日と15日に高い測定値が出た箇所を重点的に再測定するなど測定を強化しています。

あわせて、東葛6市連名による千葉県への放射線量の測定と公表の要望(5月17日)と測定の実施(5月31日)、東葛地区放射線量対策協議会の正式設立や千葉県へのワーキンググループ参加要請(6月8日)など、東葛地域で連携した放射線対策にも取り組んでいます。

今回の放射線量の問題では、「国や東電の行うべきこと」と「我孫子市でできること、しなければならない」ことを明確化しつつ、上記のように我孫子市独自の放射線量の測定と情報の公開を行っていくことはとても重要なことと考えています。加えて、私は、我孫子市としての統一方針と安全基準の設定、そして(数値が危険値に達するなどの)緊急時の迅速かつ効果的な対処方法とシステムを一刻も早く確立していくことが大切になっていると考えています。

柏市の私立みくに幼稚園では園庭を独自に測定し、表土を除去した取り組みを行いました。また、我孫子市の私立エーデル幼稚園でも今後、園庭の土を入れ替え、園庭と遊具の清掃を実施する旨、保護者に通知しました。公立の施設等においても、測定値をもとにした科学的な判断のもとに、必要に応じて我孫子市としてしかるべき対策を冷静に実施していくべきと考えています。



現場主義

ほっと Communication

印南 宏後援会 会報
2011.6.27 No.51

印南 宏は震災の教訓を活かす街づくりを目指します 千年に一度の大震災と復旧・復興への責任と決意

私達のまち「我孫子」も、千年に一度とも言われている東日本大震災の被災自治体の一つであり、布佐・都地区を中心に液状化が発生するなど大きな被害を受けました。

我孫子に限らず、震災後三カ月を過ぎても復旧、復興活動は今なお、現在進行形で行われています。特に、瓦礫の処理や福島第一原発に端を発する放射能問題は今世紀最大とも言える苦難であり、解決に向けて長く、厳しい道のりになると考えられます。被災自治体の市議の一人として、そして日本の一市民として、復旧・復興という未来の子供達に対する責任と決意を強く感じているところです。

震災の教訓を活かし、地域防災計画の中間総括を!

我孫子市の防災の要である「我孫子市地域防災計画」の見直しが見直されています。しかし、国や県の地域防災計画の見直し後の取り組みとなる予定です。市の防災計画と国や県の防災計画とに食い違いがあってはなりませんし、拙速な危機感のあおりや対策は避けねばなりません。例えば、市役所本部と被災現場との連携、全体のコーディネート機能の強化、外部との調整、防災行政無線などの情報伝達機能の見直し、防災訓練の充実など、今回の震災で得られた大切な教訓を急ぎ中間総括して、市民と市による共通化を行うべきです。有識者(独立行政法人 建築研究所の専門家)等によって、千葉東方沖や東京湾北部で大津波ももたらしかねないマグニチュード8クラスの巨大地震発生も懸念されている中にあるのは、可能な所からでも早急に地域防災計画を総括し、いつ発生してもおかしくない次の災害に備えていくことが重要になっています。

放射線量の測定と徹底した情報開示を!

福島第一原発事故による放射線量に対する市民の不安は、国や東京電力の初期対応への不審もあって、強いものとなっています。この問題は、専門的見地も踏まえた冷静な判断と対処が必要とされます。そのため、市民の安心・安全を図る観点からも、市としての継続的な測定や情報開示の徹底を含む、独自の対応も必要となります。引き続き、市としての対応について求めていく所存です。



**宏と語る小さな小さな
ティーパーティー開催中!**

お気軽にお電話下さい。
行政相談もこちらへ!
ご意見をお待ちしています。

いんなんみ ひろし
印南 宏
後援会事務局 7184-2860
自 宅 7189-1598
住 所 我孫子市布佐平和台 7-1-18
ブログ <http://hiroshi4649.at.webry.info/>
E-MAIL innami@mqd.biglobe.ne.jp



6月議会の主な争点

6月定例市議会は6月6日～23日までの18日間の会期で行われ、震災復旧工事に伴う5億9,450万円の公共下水道事業特別会計補正予算、財産の無償譲渡（旧寿市民センターの我孫子市商工会への無償譲渡）、工事請負契約の締結（湖北中など4校の校舎耐震補強等大規模改造工事契約）、財産の取得（消防の高規格救急自動車、救助工作車の購入）、基本構想の一部改正（会期中の追加提案議案）についてなど12議案が審議されました。その他、「地方消費者行政充実のための国による支援に関する請願」、「さわやかな環境づくり条例の改正に関する陳情」の2件が提出され、後者の陳情は否決されました。

主な争点は議案7号の「財産の無償譲渡」であり、商工会へ無償譲渡する建物が譲渡後も不特定多数の市民に継続して貸し出されるにもかかわらず耐震診断が行われないことや、建物の活用が商工会の事業になっていないこと、さらに契約内容が明確となっていないにも関わらず市の保有している土地も無償貸与となることなどが論議されました。

また、第4～6号の市内小中学校4校の「工事請負契約の締結」では事業費等の見積もりが適正か、採用されている総合評価方式による入札システムが評価項目や評価点の在り方で地元優先になっていないか等が争点となりました。なお、追加提案された議案12号の「我孫子市基本構想（我孫子の将来の基本的方向を定めたもの）の一部改正」では、将来の人口想定を15万人から14万人に下方修正したことへの疑問や、大震災による社会変化等を基本構想にどのように反映させるかなどが争点となり、継続審議となることとなりました。

<印南の属する「あびこ21」の質問の骨子>

I 震災後の我孫子市の対応

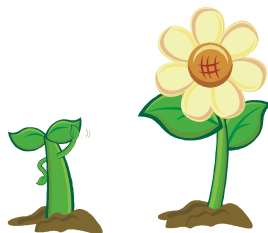
- ・被災者の受け入れ態勢
- ・市外被災地、被災者の支援
（継続的支援・耕作放棄地の活用・被災者雇用・賃貸住宅の補助）
- ・市内被災地の復旧・復興対策（布佐東部地区復旧対策室）
- ・経済の活性化策（緊急融資・手賀沼花火の中止と新たな施策）
- ・市の重要施策の見直し
（基本構想・地域防災計画・ハザードマップ）

II 子どもたちを守る為に（放射能対策）

- ・原発事故、今後のエネルギー施策に対する所見
- ・国、県、東電への働きかけ
- ・放射線量の測定・公表
- ・国の定めた基準値に対する所見
- ・校庭・園庭・公園などの土の入れ替え
- ・外部被爆と内部被爆
（屋外授業、給食食材のチェック、保護者の選択制の補償）
- ・水道水の測定と公表
- ・自然エネルギー（太陽光、風力等）の助成拡大と新設
- ・耕作放棄地での太陽光発電施設の設置

<詳細は別途、議会だより、HP等をご参照下さい。>

『住んでよかった』そして『住んでみたい』と言われる街に



◆#####♥

宏と語る小さな小さなティーパーティーのご案内

6月議会報告と「これで良いのか、我孫子市は」の視点で、意見交換をおこなう小さな小さなティーパーティーです。

どうぞ、みなさま奮ってのご参加をお待ちしております。

◆日時：平成23年8月6日(土) 午後6時～7時30分位

◆場所：布佐南近隣センター(会議室)

◆その他：参加費無料・事前予約等不要です。
(どうぞお気軽にご参加ください!!)



♥#####◆

「あびこ」と「宏」のトピックス

電力需給と、JR成田線の夏季のダイヤ編成について！

大震災直後の「計画停電」にともなうJR成田線のダイヤの乱れは、私達の生活に大きな混乱と支障をきたしました。一時は帰宅時間帯を含む特定の時間帯に6時間以上の運行空白帯が設けられたり、日々のダイヤは当日早朝の駅頭でしか判明しない（市職員がそれを市のHPに日々更新するなどの緊急対応も実施）など、震災という緊急事態ではあるものの他線と比較して到底納得できるものではありませんでした。

電力需給の逼迫が懸念される今年の夏は、この二の舞とならないように、我孫子市を通じてJR東日本旅客鉄道(株)に強く働きかけを行ってきました。その結果、6月7日にJR東日本から、この夏の節電の取り組みについての回答を得ることができました。それによれば、電力需給が逼迫する夏季に向けて「電力使用制限令」を受けてJR東日本も対応を迫られますが、成田線のように一時間あたり3本以下の運行路線では、9時～12時、12時～15時、15時～20時における電力の削減率は全て「0%」とする回答でした。従って、基本的に運転本数の削減は行わないということになります。

医療費助成、中学生まで拡大へ！

我孫子市では、子育て世代の経済的負担軽減に向けて、今年8月から子供医療費助成の対象を中学生にまで拡大することを決定しました。小学3年生までは受診時に受給券を提示して、一回当たり負担額200円を支払う「現物給付方式」、小学4年生から中学3年生までは後日精算する「償還払い方式」で行います。

今年の4月時点で、医療費助成制度を中学生まで適用しているのは千葉県内で15自治体、人口規模の大きい東葛地域では我孫子市が初となります。今年8月からは中学生が対象に加わり、対象者は約3,580人増加し、全体で1万8,500人が制度の対象者となることとなります。



♪ 是非、ご覧下さい!! ♪

◆印南宏が代表を務める

「あびこ21」ホームページ

◆我孫子市公式ホームページ

<http://abiko21.exblog.jp/>

<http://www.city.abiko.chiba.jp/>

